

## 令和元年度 北アルプス地域の横断的な課題

【令和元年度】

横断的な課題	施策の柱	取組実績
<p>北アルプスの雄大な自然と安曇野の田園風景を活かした観光振興</p> <p>～山が生み出す清冽な水と空気によって育まれた北アルプス山麓地域の魅力を世界に発信～</p>	<p>1 広域DMO支援と地域一体となった観光推進体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域型DMO (HAKUBAVALLEY TOURISM) アドバイザリーボードへの参画(随時)</li> <li>・「北アルプス山麓観光大学」の開催(10/8 100名)</li> <li>・講演：体験・学習旅行の意義と北アルプス山麓エリアの魅力(講師：(公財)日本修学旅行協会理事長)</li> <li>・事例発表：観光人材の育成～白馬高校の挑戦～(発表：白馬高校国際観光学科生徒)</li> </ul>
	<p>2 サイクルツーリズムの推進 ～ナショナルサイクルルート認定を目指して～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「信州花フェスタ2019まるごと信州わくわくデー」へのブース出展(4/27～30 来場者600名以上)</li> <li>・サイクルモードインターナショナルへのブース出展(11/2～4幕張メッセ 来場者1,300名以上)</li> <li>・移住情報誌(TURNS10月号、月刊ふるさとネットワーク1月号)に北アルプス地域のサイクル関連記事を掲載</li> <li>・「糸魚川地域振興局との情報交換会」の開催(6/12)</li> <li>・「サイクル環境整備をテーマに関係団体等と意見交換を行う「自転車観光に関する情報交換会」の開催(8/29 51名、12/6 23名)</li> <li>・(一)有明大町線に自転車レーンを示す矢羽根型路面標示を整備(12月 L=8.7km)</li> <li>・「サイクルイベントの運営に職員がボランティアで参加 アルプスあづみのセンチュリーライド(4/21 5/26 各6名)、北アルプス山麓グランフوند(7/7 2名)ほか</li> </ul>
	<p>3 多彩なツーリズムの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州花フェスタ2019を契機とした市街地の緑化及び観光誘客の取組支援(フラワーアレンジメントの講習会、花フェスタ関連イベントの開催支援)</li> <li>・親子体験型自然教育プログラムの構築及びイベントPRを支援(7/19～9/30柗池高原(株)おたり振興公社)</li> <li>・ハーバルヘルストレーナー養成やハーバルヘルストウリズム推進の取組を支援</li> <li>・落倉高原浅間山～牧畜スキー場跡のハイキングパークづくりを支援。(トレッキングコース整備やガイド養成等)</li> <li>・北アルプス山麓地域の魅力発信及び観光誘客促進するため、旅行エージェント対象の誘客イベント(7/12名古屋、11/8東京)、フォトコンテスト等の取組を支援</li> <li>・旅行雑誌編集者に地域の主要な観光スポットに訪れてもらい、来春刊行予定の旅行雑誌への掲載を要請</li> </ul>
	<p>4 インバウンド対応の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーリゾート誘客促進のため、JR西日本・メディアの企画担当者11名を当地域に招へいし、視察研修会を実施(R2.1.16～17)</li> <li>・インバウンド観光客を大町のまちなかに誘客するため、インバウンド向けのPR素材作成や店舗での受入体制整備等の取組を支援</li> <li>・広域型DMO (HAKUBAVALLEY TOURISM) アドバイザリーボードへの参画(随時)【再掲】</li> </ul>
	<p>5 登山道や街並み整備の推進、山岳環境の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語併記及びピクトグラム8種類の登山マナーカード42,000枚作成・配布(6/21～)</li> <li>・市町村及び山小屋事業者が実施する登山道整備への補助(9カ所 3,147千円)</li> <li>・「まちなかの緑地整備事業」による大町市街地の環境整備(9/12)</li> <li>・「白馬駅周辺整備検討会」における、白馬駅前の景観・環境整備について意見交換(6/7,12/26,2/28(予定))</li> <li>・「建設行政意見交換会」の開催(8/1)</li> <li>・北アルプス高標高地における野生鳥獣対策(先進事例調査：5/9車山高原、現地調査：9/5猿倉～大雪溪(白馬村))</li> </ul>
	<p>6 地域の産業と連携した観光の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業資産(上原温水路)を観光活用するため、看板設置について関係機関と協議の上、工事着手(1月～)</li> </ul>
	<p>7 大系線を活用した広域観光の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大系線沿線の駅で自転車の輪行バックを無料貸し出し(7/30～11/30 利用者12名 主催：北アルプス日本海広域観光連携会議)</li> <li>・「大系線を活用した地域振興についてシニア大学生と語り合うイベント」の開催(7/31 34名)</li> <li>・「のんびり大系線の旅」への参加(7/31上記イベントでのアイデアから生まれた企画)</li> </ul>

横断的な課題	施策の柱	取組実績
<p>北アルプス山麓地域ならではの生き生きとした暮らし方・働き方の提案や仕組みづくりによる人口定着・人材確保への挑戦</p> <p>～広域的な移住・定住促進と地域人材確保による地域力の維持・向上～</p>	<p>1 若者の定住・定着支援、地域を支える人材の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内高校とキャリア教育の取組等について意見交換(10/17池田工、11/14 1/15(移動知事室)大町岳陽、白馬調整中)</li> <li>「大北地域企業説明会」の開催(5/8 大町市 主催:ハローワーク大町 15名参加)</li> <li>インターンシップフェアへの参加((6/29 都内、12/28 長野市)</li> <li>管内5市町村の成人式でのUターン就職希望者へのPR(対象者:747名)</li> <li>高校生と大学生の視点による町の情報発信と「まちの寺子屋」の開催支援(主催:国立大学法人信州大学キャリア教育・サポートセンター)</li> <li>記者発表による取組PR(5/30、8/28)、フォーラムへの参加(12/14)</li> <li>町の未来を考える学生参加のワークショップなど「池田つむぐプロジェクト」への支援・参画</li> <li>記者発表による取組PR(7/29、8/28、11/28)、「池田未来会議」等への職員の参加(8/30、12/15)</li> </ul>
	<p>2 地域おこし協力隊員の定着支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域おこし協力隊北アルプス地域交流・個別相談会」の開催(11/19 28名)</li> <li>「大北地区タウンミーティング2019」でブースを設置し、サポーターの紹介や募集を実施(11/6)</li> <li>協力隊員の活動やサポーターが支援可能な相談事項を広報する通信紙「Kita Alps地域おこし協力隊通信」の発行(2月(予定))</li> <li>「地域おこし協力隊北アルプス地域ネットワーク会議」の開催(9/18 7名参加)</li> </ul>
	<p>3 ライフスタイルの発信、つながり人口の創出・拡大による移住・定住の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北アルプス連携自立圏と連携した「北アルプス地域で暮らし・働く」魅力発信</li> <li>県名古屋移住推進員を招聘し、管内視察・意見交換(9/10～11)</li> <li>移住関連イベント広報チラシを作成・配布(7月、10月、1月)</li> <li>関西圏移住セミナー(TURNSカフェ大阪)へ参加(11/16)</li> <li>北アルプス地域「農ある暮らし」の推進</li> <li>「農ある暮らしサポート直売所」をJA大北と連携し開設(4/1～)</li> <li>「野菜を育てる」初めて研修会」の開催(5/23 9名、8/28 2名、3月(予定))</li> <li>つながり人口創出に向けた首都圏でのイベント「北アルプスシェアごはん」の開催(12/21銀座NAGANO 40名)</li> <li>移住・定住及び介護・福祉人材の確保に向けた首都圏でのイベント「北アルプスdeフクシ」の開催(1/13銀座NAGANO 24名)</li> <li>中心市街地の空き家活用方策を検討する「空き家の学校」への参加(5/17,26ほか計5回 主催:大町市、信大、東大)</li> </ul>
	<p>4 外国籍住民の増加に対応できる環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「北アルプス地域県機関と白馬村との懇談会」において急増する外国人を巡る課題等について意見交換(7/23)</li> <li>外国人のための防災対策</li> <li>「災害多言語支援センター設置・運営及び外国籍県民担当者研修会」の開催(7/18 30名)</li> <li>「外国人のための防災訓練 IN 北アルプス」の実施(11/20 35名)</li> <li>外国人を雇用する事業者を対象に、国税、県税、村税の知識・手続き等に係る「外国人に対する三税合同説明会」の開催(11/22白馬村 16名)</li> </ul>
	<p>5 高齢者の社会参加の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の社会参加のための「大北地域 タウンミーティング2019」の開催(11/6 149名)</li> <li>大北地域シニア活動応援団体登録制度における団体の登録 (R元年度 3団体)</li> <li>「まちの縁側講座」の開催 (7/26大町市平地区 30名、3/6(予定)松川村)</li> </ul>
<p>北アルプス山麓地域の防災力の向上</p> <p>～県・市町村・地域住民が力を合わせて取り組む大規模災害対策の推進～</p>	<p>1 住民ひとりひとりの防災意識の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災シンポジウム」の開催(3/14(予定)大町市)</li> </ul>
	<p>2 住民の力を活かした防災力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時住民支え合いマップの未策定地区における策定支援</li> <li>策定支援チーム(福祉、建設、振興局)の打ち合わせ及び市町村担当者会議(市町村、社協、危機管理、福祉、建設、振興局)を開催(7/23 9/6)</li> <li>マップづくりの地区懇談会等に参加して説明、策定を呼びかけ(5/29 11/2 11/30小谷村)</li> <li>小谷村行政連絡会議で自主防災組織の重要性について啓発(5/29)</li> <li>避難所運営マニュアルによる訓練に参加・支援(10/26池田町)</li> </ul>
	<p>3 観光地の災害対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「災害多言語支援センター設置・運営及び外国籍県民担当者研修会」の開催(7/18 30名)【再掲】</li> <li>「外国人のための防災訓練 IN 北アルプス」の実施(11/20 35名)【再掲】</li> </ul>
	<p>4 防災関係機関の連携による体制強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大北地域防災業務関係者連絡会議」の開催(5/29 3月(予定))</li> <li>「行政職員対象危機管理セミナー」の開催(2/4(予定)大町合同庁舎)</li> <li>「大規模災害医療救護計画に基づく訓練」の実施(8/20)</li> <li>地すべり対策事業を実施中(2地区)</li> <li>居谷里地区(大町市)の農村地域防災減災事業に着手</li> <li>土砂災害警戒区域の指定等のソフト対策と併せ、砂防、地すべり、急傾斜、雪崩に係るハード対策を実施(上半期までに砂防事業4箇所完了)</li> <li>「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業」による整備促進</li> </ul>